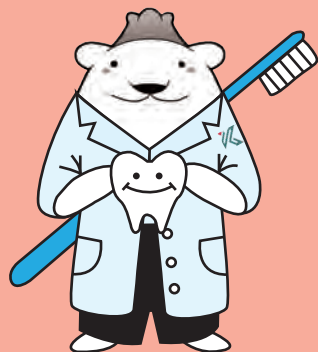


鹿児島大学病院 小児歯科



わたしたちは南九州地域の拠点医療機関として、お子さまの総合的な口腔育成を目指しています。わたしたちの診療内容についてご紹介させていただきます。

診療のご案内

- 1 小児のむし歯治療と予防管理
- 2 障がい児(者)のむし歯治療
- 3 歯ならびの早期治療
- 4 外来処置
- 5 保険管理
- 6 口唇口蓋裂
- 7 もぐもぐ外来



診療案内	
初診：月～金	8:30～16:00
再診：月～金	8:30～17:30



障がい児(者)の歯科治療日	
月・水曜日	13:00～15:00
木曜日	9:30～12:00

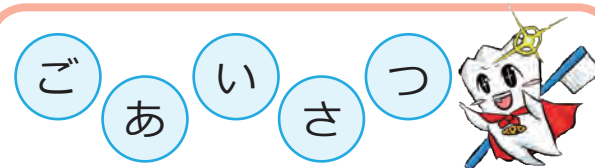
連絡先(小児歯科外来)

TEL 099-275-6630

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1

◎公共交通機関で来院される方へ

- ・JR 指宿枕崎線「宇宿駅」下車 約 1.4 km
- ・鹿児島市電「脇田電停」下車 約 1.5 km 
- ◎鹿児島市営バス
- ・大学病院線(18番線) 桜ヶ丘行き 
- ◎鹿児島交通バス
- ・大学病院線(14番線) 大学病院行き
- ・桜ヶ丘団地線(17番線) 桜ヶ丘東口行き
- ・魚見ヶ原線(18番線) 魚見ヶ原行き
- ・紫原・桜ヶ丘線(19番線) 桜ヶ丘団地行き
- ・魚見ヶ原・谷山電停線(40番線) 魚見ヶ原行き



小児歯科はむし歯治療だけをおこなう診療科と思われがちですが、様々な歯科治療技術を通して、お子さまのお口の健康増進を目指しています。

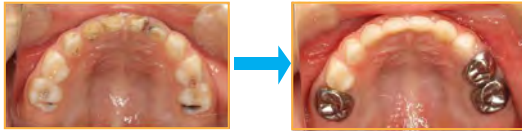
診療内容としては、むし歯や歯周病の予防管理、恐がりやで通常治療が受け入れられないお子さまのむし歯治療、外傷で歯が欠けたり抜けたりした場合の対応、正常な歯の生え方を障害する埋伏過剰歯や歯牙腫の摘出手術、言葉の学習や歯磨きの支障となる上唇小帯・舌小帯のレーザー手術、思春期前後の若年者顎関節症への対応などがあります。また、特に力を入れている分野は、障がい児(者)の口腔健康管理、歯ならびやかみ合せに異常のある低年齢児の早期治療、摂食・嚥下に障害を持つお子さまへの取り組み、およびホッツ床を使った口唇口蓋裂児の顎誘導と哺乳指導です。

障害のある方で、通常の歯科治療を受け入れることが難しい場合は、全身麻酔下で集中的に治療を行います。その後は定期的な検診と予防処置によりお口の健康を維持します。また、幼児期の歯ならびやかみ合せに大きな異常があると、顔が曲がって成長したり、食べ方や話し方に支障が生じることがありますので、早期の対応を考えた方が良いでしょう。

お子さまのお口に関するご相談がありましたら、ご遠慮なくご連絡下さい。

1. むし歯治療と予防管理

予防管理を含めて、むし歯のなりやすさに配慮した管理を行っています。



治療前

治療後

笑気吸入鎮静法

治療が少し怖いお子さまや嘔吐反射のあるお子さまは、笑気吸入鎮静法を使います。



ラバーダム装着

ラバーダムを装着することによってお口の中を清潔な状態に保ちます。また、誤嚥を防止します。



トレーニング風景

治療が終了したら、歯磨き指導や食生活指導、フッ素塗布などでむし歯予防を行っていきます。



早めの治療が大事だね

2. 障がい児(者)のむし歯治療

治療に対して恐怖心の強いお子さまや障がい児(者)などコミュニケーションの問題があったり、治療が円滑に受け入れられない場合に、歯科麻酔科と連携して、全身麻酔法や静脈内鎮静法を用いて歯科治療を行います。



全身麻酔法



静脈内鎮静法

3. 歯ならびの早期治療

乳歯の時期から永久歯が生え始める時期にかけて、早期に歯ならびやかみ合わせの治療を行います。下顎に前や横へのズレがみられる場合、そのまま放置すれば、将来顎の変形などを引き起こす可能性があります。そのため早期に対応し重症化を防ぎます。乳歯の時期の治療は、比較的短時間で、単純な装置で行うことができ、お子さまへの負担も少なくなります。



初診時

クワドヘリックス

5ヶ月後



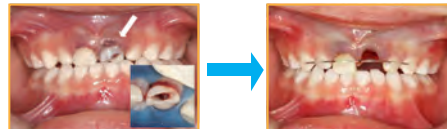
初診時

弾線付きリンガルアーチ

2ヶ月後

4. 外科処置

◎ 歯の外傷



不慮の事故による歯や根の破折、脱臼などへの緊急処置とその後の口腔管理を行います。



◎ 過剰歯の摘出



歯ならびに悪影響を及ぼす過剰歯を摘出します。

しっかり
治そうね



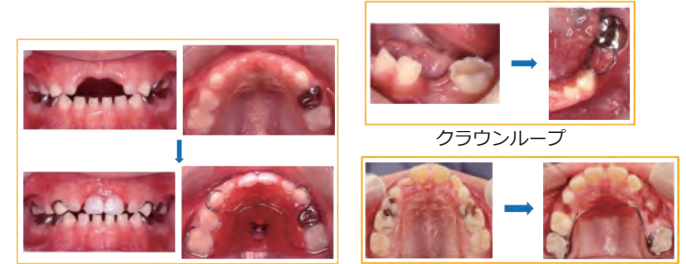
◎ レーザーを用いた小手術



上唇小帯、舌小帯、粘液のう胞などをレーザーなどで切除し、改善します。

5. 乳歯早期喪失に伴う保隙管理

大きなむし歯などが原因で、永久歯が生えてくる時期よりも早く乳歯を失ってしまった場合に、永久歯が生えてくるすき間を保っておくために保隙装置を使います。



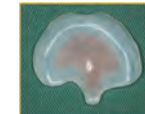
クラウンループ

入れ歯型の保隙装置

ナンスのホールディングアーチ

6. 口唇口蓋裂児への早期対応

口蓋裂があり哺乳がうまくできない赤ちゃんにはホッツ床を用いてミルクを上手に飲めるようにします。また、口唇裂がある赤ちゃんで鼻の変形が著しい場合、ホッツ床に鼻を持ち上げる装置を追加したNAM(ナム)という術前外鼻修正装置を用います。



ホッツ床



NAM(ナム)



NAM(ナム)の装着

7. もぐもぐ外来(摂食・嚥下リハビリテーション)

心身に障害を持って生まれると、食べること、飲みこむことがうまくできない、摂食・嚥下障害を伴うことがあります。

お口のケアや感覚刺激により、上手に食べられるように指導したり、お口の機能の発達を促します。



介助者への口腔ケア指導



舌機能の活性化装置